



2021年1月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年9月11日

上場会社名 オース株式会社 上場取引所 東
 コード番号 9637 URL <http://www.osgroup.co.jp>
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 高橋 秀一郎
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 森口 武士 (TEL) 06-6361-3554
 四半期報告書提出予定日 2020年9月14日 配当支払開始予定日 2020年10月2日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年1月期第2四半期の連結業績(2020年2月1日～2020年7月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年1月期第2四半期	2,143	△51.2	△116	—	△140	—	△147	—
2020年1月期第2四半期	4,394	27.6	548	58.6	512	72.6	338	70.1

(注) 包括利益 2021年1月期第2四半期 △190百万円(—%) 2020年1月期第2四半期 342百万円(73.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年1月期第2四半期	△46.47	—
2020年1月期第2四半期	106.86	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年1月期第2四半期	29,443	10,251	34.8
2020年1月期	28,979	10,492	36.2

(参考) 自己資本 2021年1月期第2四半期 10,251百万円 2020年1月期 10,492百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年1月期	—	12.50	—	20.00	32.50
2021年1月期	—	12.50			
2021年1月期(予想)			—	未定	未定

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年1月期の連結業績予想(2020年2月1日～2021年1月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,500	△38.4	△290	—	△360	—	△280	—	△88.40

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2021年1月期2Q	3,200,000株	2020年1月期	3,200,000株
2021年1月期2Q	29,162株	2020年1月期	34,073株
2021年1月期2Q	3,168,034株	2020年1月期2Q	3,165,961株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

なお、業績予想に関する事項については、添付資料3ページ「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

(参考) 個別業績予想

2021年1月期の個別業績予想 (2020年2月1日～2021年1月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,900	△40.18	△320	—	△230	—	△72.61

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルスの感染拡大によって国民生活、雇用、企業活動のいずれにも深刻な打撃を受けました。5月25日に緊急事態宣言が解除され、経済活動は再開されているものの感染拡大の収束が見えない等、先行きは不透明な状況が続いています。

このような経済環境のなか、当社グループは、昨年策定した中期経営計画を基に、持続的成長を可能とする組織・事業・収益構造の確立に向け取り組むとともに、緊急事態宣言解除後も、お客様やお取引先様、従業員の安全と健康に配慮した感染予防策の実施を最優先に事業活動を推進してまいりました。

しかしながら、50日に亘る緊急事態宣言に伴う休業や外出自粛の影響により、当第2四半期連結累計期間の成績は、売上高は2,143,425千円と前年同期に比べ2,251,476千円(51.2%)の減収となり、営業損失は116,837千円(前期は548,223千円の営業利益)、経常損失は140,496千円(前期は512,501千円の経常利益)、親会社株主に帰属する四半期純損失は147,220千円(前期は338,329千円の親会社株主に帰属する四半期純利益)となりました。

経営成績をセグメント別で見ると次のとおりであります。

(映画事業)

映画事業におきましては、2月は「犬鳴村」「1917 命をかけた伝令」「スマホを落とすだけなのに 囚われの殺人鬼」などの話題作を上映しましたが、2月28日以降、新型コロナウイルス感染拡大により、上映予定作品の公開延期やイベントの自粛が相次ぎ、さらに政府の緊急事態宣言に伴う自治体からの休業要請を受け、4月8日から営業休止を余儀なくされました。

OSシネマズ神戸ハーバーランドは5月22日、OSシネマズミント神戸は5月25日に感染予防策を講じた上で、営業を再開し、7月には「今日から俺は!! 劇場版」「コンフィデンスマンJP プリンセス編」などのヒット作品を上映しましたが、感染予防対策に伴う販売座席数の減少により、厳しい経営環境は続いております。

その結果、売上高は474,565千円と前年同期に比べ1,319,022千円(73.5%)の減収となり、営業損失は262,867千円(前期は204,194千円の営業利益)となりました。

(不動産賃貸・販売事業)

不動産賃貸業界におけるオフィスビル市況でも、都心部での賃貸面積の縮小や解約の動きが顕在化し、新型コロナウイルスの感染拡大の影響は避けられない状況となってまいりました。2020年7月末時点での東京都心5区の空室率大幅上昇や大阪ビジネス地区での空室率3ヶ月連続上昇等に顕著に表れています。

不動産賃貸事業におきましては、新型コロナウイルス感染の影響を最小限に止めるべく入居テナントと協議の上、換気の徹底、消毒液の設置に加え、テナントに無償で消毒液を配布するなど衛生面の対策を施しながら、テナントの事業継続を第一優先としたビル運営を継続しております。結果、当第2四半期連結会計期間末における直接保有ビルの稼働率は100%と満室稼働を維持し、当第2四半期連結累計期間におけるテナント休業の影響は、最小限に止めることができました。

また、OS広場においては、人が集まるイベントを自粛しておりますが、感染予防策を講じ再度賑わいの創出が出来るよう準備を進めております。

なお、昨年和歌山県白浜町において取得いたしましたICTオフィスビル用開発物件につきましては、様々な働き方や地域創生に資する多様性を持ったリゾートサテライトオフィスとして提供すべく本年11月のオープンに向け、改修工事を進めております。施設名称は「ANCHOR」に決定いたしました。

一方、住宅販売市況は、新型コロナウイルスの直接的な影響は受けていないものの、消費の長期低迷等ますます先が見通せない状況となってまいりました。

このような状況のなか、不動産販売事業におきましては、感染予防策を徹底した上で営業活動を行い、分譲マンション「プレミア逆瀬川宝梅 ザ・レジデンス」(宝塚市)の売上を計上いたしました。また、共同事業者とともに進めております分譲住宅「ハビアガーデン宝梅一丁目」(宝塚市)につきましては、本年6月に全8邸が完成し、販売に鋭意取り組んでおります。

その他の分譲マンション「ローレルスクエアOSAKA LINK」(大阪市東淀川区)、大阪市住之江区新北島三丁目の計画につきましても、共同事業者とともに販売開始に向け準備を進めております。

不動産賃貸・販売事業としては、分譲マンションの販売戸数が前年同期を下回ったことなどにより、売上高は

1,603,875千円と前年同期に比べ824,803千円(34.0%)の減収となり、営業利益は543,803千円と前年同期に比べ179,346千円の減益となりました。

(飲食事業)

飲食事業におきましては、緊急事態宣言解除後、6月2日から全店舗営業を再開いたしました。テイクアウトメニューの販売に取り組むなど、衛生管理や感染予防に努めながら営業を続けてまいりましたが、営業時間の短縮を余儀なくされ、極めて厳しい状況が継続いたしました。

その結果、売上高は64,984千円と前年同期に比べ62,736千円(49.1%)の減収となり、営業損失は28,868千円と前年同期に比べ21,451千円の悪化となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の財政状態につきましては、前連結会計年度末と比較して総資産は463,166千円の増加となりました。これは有形固定資産205,542千円及び売掛金156,151千円の減少がありましたが、主に現金及び預金560,357千円及び販売用不動産265,225千円の増加によるものであります。

負債につきましては、703,663千円の増加となりました。これは未払法人税等147,607千円及び未払費用101,185千円の減少がありましたが、主に短期借入金657,580千円及び長期借入金559,110千円の増加によるものであります。

純資産につきましては、240,497千円の減少となりました。これは主に利益剰余金212,607千円の減少によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年1月期の連結業績予想につきましては、2020年7月29日の業績予想の修正及び期末配当予想の修正に関するお知らせで発表しました業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年1月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年7月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,259,833	1,820,190
売掛金	311,565	155,413
販売用不動産	2,199,533	2,464,759
商品	12,121	11,620
貯蔵品	2,189	1,845
前払費用	86,264	129,887
その他	74,236	56,228
貸倒引当金	△7,383	△7,383
流動資産合計	3,938,361	4,632,561
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	19,050,705	19,023,056
減価償却累計額	△10,829,707	△11,069,513
建物及び構築物(純額)	8,220,997	7,953,542
機械装置及び運搬具	289,044	289,712
減価償却累計額	△180,063	△189,907
機械装置及び運搬具(純額)	108,981	99,804
工具、器具及び備品	729,380	729,333
減価償却累計額	△595,356	△615,152
工具、器具及び備品(純額)	134,023	114,181
土地	12,947,393	12,947,689
信託建物	596,773	597,170
減価償却累計額	△177,928	△196,960
信託建物(純額)	418,845	400,210
信託土地	1,812,608	1,812,608
建設仮勘定	33,686	142,957
有形固定資産合計	23,676,535	23,470,993
無形固定資産		
ソフトウェア	34,991	105,121
ソフトウェア仮勘定	—	8,800
その他	7,637	684
無形固定資産合計	42,628	114,606
投資その他の資産		
投資有価証券	363,549	301,181
長期前払費用	100,757	87,419
差入保証金	578,424	578,724
建設協力金	252,401	230,560
繰延税金資産	17,635	18,112
その他	8,420	8,420
投資その他の資産合計	1,321,187	1,224,418
固定資産合計	25,040,352	24,810,018
繰延資産		
社債発行費	1,166	466
繰延資産合計	1,166	466
資産合計	28,979,880	29,443,046

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年1月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年7月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	231,179	115,296
短期借入金	2,458,180	3,115,760
1年内償還予定の社債	500,000	500,000
未払金	72,720	24,101
未払費用	254,598	153,413
未払法人税等	152,698	5,091
未払消費税等	82,696	36,760
賞与引当金	31,484	33,552
その他	344,243	356,018
流動負債合計	4,127,801	4,339,995
固定負債		
長期借入金	9,420,980	9,980,090
長期預り保証金	1,964,701	1,933,754
繰延税金負債	898,925	848,007
再評価に係る繰延税金負債	1,674,048	1,674,048
退職給付に係る負債	401,199	415,424
固定負債合計	14,359,855	14,851,325
負債合計	18,487,656	19,191,320
純資産の部		
株主資本		
資本金	800,000	800,000
資本剰余金	66,507	66,506
利益剰余金	6,800,434	6,587,827
自己株式	△106,366	△91,035
株主資本合計	7,560,575	7,363,297
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	139,884	96,665
土地再評価差額金	2,791,763	2,791,763
その他の包括利益累計額合計	2,931,648	2,888,428
純資産合計	10,492,223	10,251,726
負債純資産合計	28,979,880	29,443,046

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2019年2月1日 至2019年7月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自2020年2月1日 至2020年7月31日)
売上高	4,394,902	2,143,425
売上原価	3,419,713	1,833,639
売上総利益	975,189	309,786
一般管理費	426,966	426,624
営業利益又は営業損失(△)	548,223	△116,837
営業外収益		
受取利息	3,905	3,491
受取配当金	2,156	1,565
受取給付金等	-	11,974
匿名組合投資利益	3,701	-
その他	2,617	2,718
営業外収益合計	12,379	19,750
営業外費用		
支払利息	43,454	39,979
その他	4,646	3,428
営業外費用合計	48,100	43,408
経常利益又は経常損失(△)	512,501	△140,496
特別利益		
補助金収入	-	2,000
特別利益合計	-	2,000
特別損失		
減損損失	-	37,615
固定資産圧縮損	-	2,000
固定資産除却損	2,842	87
店舗閉鎖損失	6,110	-
特別損失合計	8,952	39,703
税金等調整前四半期純利益又は 税金等調整前四半期純損失(△)	503,549	△178,200
法人税、住民税及び事業税	132,943	1,359
法人税等調整額	32,276	△32,338
法人税等合計	165,219	△30,979
四半期純利益又は四半期純損失(△)	338,329	△147,220
非支配株主に帰属する四半期純利益又は 非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	-	-
親会社株主に帰属する四半期純利益又は 親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	338,329	△147,220

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年2月1日 至 2019年7月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年2月1日 至 2020年7月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	338,329	△147,220
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	4,307	△43,219
その他の包括利益合計	4,307	△43,219
四半期包括利益	342,637	△190,440
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	342,637	△190,440
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

新型コロナウイルスの感染拡大及び緊急事態宣言の発出等により、当社グループでは、映画館や飲食店舗、分譲マンション販売センターの営業を休止しておりました。緊急事態宣言の解除後は、感染予防策を講じながらの営業を再開しております。

このような状況のなか、新型コロナウイルスの感染拡大による影響は、当連結会計年度は縮小しながらも一定程度残り、翌連結会計年度中には収束すると想定し、固定資産の減損、繰延税金資産の回収などの会計上の見積りを行っております。この結果、回収可能性が見込めない固定資産37,615千円について減損損失を計上しております。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自 2019年2月1日 至 2019年7月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	映画事業	不動産賃貸 ・販売事業	飲食事業	その他事業 (注3)	計	調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
売上高							
(1) 外部顧客への 売上高	1,793,588	2,428,679	127,721	44,913	4,394,902	—	4,394,902
(2) セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	21,572	—	—	21,572	△21,572	—
計	1,793,588	2,450,251	127,721	44,913	4,416,474	△21,572	4,394,902
セグメント利益又は 損失(△)	204,194	723,150	△7,416	1,995	921,923	△373,700	548,223

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△373,700千円には、セグメント間取引消去△3,918千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△369,782千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 「その他事業」に属しておりますn a m c o三宮店は、2019年3月3日をもって営業を終了しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2020年2月1日 至 2020年7月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	映画事業	不動産賃貸 ・販売事業	飲食事業	その他事業	計	調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
売上高							
(1) 外部顧客への 売上高	474,565	1,603,875	64,984	—	2,143,425	—	2,143,425
(2) セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	13,175	—	—	13,175	△13,175	—
計	474,565	1,617,051	64,984	—	2,156,601	△13,175	2,143,425
セグメント利益又は 損失(△)	△262,867	543,803	△28,868	—	252,067	△368,905	△116,837

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△368,905千円には、セグメント間取引消去△1,708千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△367,197千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「飲食事業」セグメントにおいて、減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間においては37,615千円であります。